

Study of immunologic evasion of human papillomavirus (HPV) Against host immuno-ersponse in patient with cervical cancer

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Sasagawa, Toshiyuki メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00056998

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



子宮頸癌患者における抗ヒトパピローマウイルス（HPV）免疫回避機構
(10671526)

平成 10 年度～平成 11 年度科学研究費補助金（基盤研究 C (2)）研究成果報告書

平成 12 年 3 月

研究代表者 笹川寿之
(金沢大学医学部保健学科)

金沢大学附属図書館



8000-89053-4

KAKEN
1999
63

はしがき

研究組織

研究代表者： 笹川 寿之 金沢大学医学部・保健学科 助教授

研究分担者： 瀬川 智也 金沢大学医学部・附属病院 助手

研究分担者： 小池 浩司 金沢大学医学部・医学科 助教授

研究分担者： 井上 正樹 金沢大学医学部・医学科 教授

研究経費

平成 10 年度 1,700 千円

平成 11 年度 1,000 千円

計 2,700 千円

研究発表

(1) 学会誌

1. T. Sasagawa, Y.-Z. Dong, et al., Immunoglobulins A and G responses against virus-like particles (VLP) of human papillomavirus type 16 in women with cervical cancer and cervical intraepithelial lesions. Int. J. Cancer, 75, 529-535, 1998
2. Y.-Z. Dong, T. Sasagawa, et al. Human papillomavirus, C. Trachomatis infection and other risk factors associated with cervical cancer in China, Int. J. Clinical Oncol. 3, 81-87, 1998
3. T. Noda, T. Sasagawa et al. Detection of human papillomavirus (HPV) DNA in archival specimens of benign prostatic hyperplasia and prostatic cancer using a highly sensitive-nested PCR method. Urological Research 26, 165-169, 1998.
4. T. Segawa, T. Sasagawa et al. FHIT Abnormalities and HPV E6/E7 mRNA Expression in the development of cervical cancer. Cancer 85, 2001-2010, 1999.

5. M. Shimakage, T. Sasagawa, et al. Expression of Epstein-Barr virus in mesopharyngeal and hypopharyngeal carcinomas. *Hum Pathol* 30, 1071-1076, 1999.
6. 笹川寿之、瀬川智也、井上正樹パピローマウイルスの診断法、 臨床検査 Vol. 43. No. 3, 329-341, 1999.
7. 笹川寿之、坂井明美、島田啓子 他 北陸地方の正常女性、妊婦におけるヒトパピローマウイルス感染。北陸公衆衛生学会 26(1), 1-5, 1999
8. I. Ninomiya, T. Hashimoto, S. Fushida, Y. Endo, T. Sasagawa, et al. Alteration of b-catenin expression In esophageal squamous carcinoma. *Int J.Cancer*, in press, 2000.
9. T. Sasagawa , M. Shimakage, et al. Epstein-Barr virus (EBV) genes expression in cervical intraepithelial neoplasia and invasive cervical cancer: A comparative study with human papillomavirus (HPV) infection. *Human Pathol.* in press, 2000.
10. T. Sasagawa, Y. Minemoto, W. Basha, H. Yamazaki, M. Nakamura, H. Yoshimoto, J. Sakaike, and M. Inoue. A new PCR-based assay amplifies the E6-E7 genes of most mucosal human papillomaviruses (HPV). *Virus Res.* in press, 2000.
11. M. Shimakage, K. Kawahara, N. Kikawa, T. Sasagawa, M. Yutsudo, H. Inoue. Downregulation of drs mRNA In human colon adenocarcinoma. *Int J. Cancer*, In press, 2000.

(2) 口頭発表

- | | |
|------|--|
| 瀬川智也 | 子宮頸部病変における FHIT 遺伝子の異常と HPV 感染における E6/E7 遺伝子の発現に関する検討
日本産婦人科学会腫瘍マーカー・遺伝子診断学会
平成 10 年 2 月 5-6 日 |
| 笹川寿之 | HLA class II 抗原タイプと子宮頸癌発症との相関関係
日本産婦人科学会腫瘍マーカー・遺伝子診断学会
平成 10 年 2 月 5-6 日 |

- | | | |
|------|--|---------------------------|
| 笹川寿之 | ヒトパピローマウイルスと子宮頸癌 (Bethesda system, HPV に対する宿主免疫応答について)
日本細胞診学会・富山支部 | 平成 10 年 2 月 28 日 |
| 笹川寿之 | HPV による子宮頸部発癌と宿主免疫応答
日本産婦人科学会・石川支部 | 平成 10 年 3 月 15 日 |
| 瀬川智也 | 子宮頸部病変における FHIT 遺伝子の異常と HPV 感染における E6/E7 遺伝子の発現に関する検討
日本産婦人科学会 | 平成 10 年 4 月 18-21 日 |
| 笹川寿之 | Genetic aspect of cervical cancer; Human papillomavirus infection and molecular events of the development of cervical cancer.
国際臨床細胞診学会 | 平成 10 年 5 月 12-13 日 |
| 瀬川智也 | 子宮頸部病変における FHIT 遺伝子の異常と HPV 感染における E6/E7 遺伝子の発現に関する検討
日本産婦人科病理コルポスコプ学会 | 平成 10 年 7 月 15-16 日 |
| 笹川寿之 | 子宮頸癌における Epstein-Barr virus の発現
日本癌学会 | 平成 10 年 9 月 30 日～10 月 2 日 |
| 島影美鈴 | 舌癌組織における Epstein-Barr virus の発現
日本癌学会 | 平成 10 年 9 月 30 日～10 月 2 日 |
| 瀬川智也 | Differential display 法による卵巣癌特異的遺伝子の単離 ; beta-catenin 遺伝子と卵巣癌発生との関係
日本癌学会 | 平成 10 年 9 月 30 日～10 月 2 日 |
| 笹川寿之 | Differential display 法による卵巣癌特異的遺伝子の単離 ; beta-catenin 遺伝子と卵巣癌発生との関係
日本産婦人科学会北日本連合地方部会 | 平成 10 年 10 月 2-3 日 |
| 山崎洋 | 新しい LCR-E7 PCR 法と市販の E6-E7 PCR, Captured assay | |

法の比較検討：粘膜型 HPV の混合感染の検出
日本産婦人科学会北日本連合地方部会 平成 10 年 10 月 2-3 日

- | | | |
|------|---|---------------------------|
| 笹川寿之 | HPV 感染について
大阪 STD 研究会 | 平成 10 年 12 月 17 日 |
| 笹川寿之 | 子宮頸癌とその前癌病変における Epstein-Barr virus の発現
日本産婦人科学会 | 平成 11 年 4 月 10-13 日 |
| 王 宅 | Differential display 法による卵巣癌特異的遺伝子の単離 ;
beta-catenin 遺伝子と卵巣癌発生との関係
日本産婦人科学会 | 平成 11 年 4 月 10-13 日 |
| 山崎洋 | 新しい LCR-E7 PCR 法と Captured assay 法の比較検討：子宮
頸癌に關与する粘膜型 HPV の感染の検出
日本産婦人科学会 | 平成 11 年 4 月 10-13 日 |
| 水本泰成 | 子宮内膜癌における Fhit protein の欠失と臨床病理学的考察
日本産婦人科学会北日本連合地方部会 | 平成 11 年 8 月 27-28 日 |
| 笹川寿之 | 子宮頸癌多段階発癌と HPV 感染
日本癌学会 | 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日 |
| 大家理恵 | 食道癌におけるケラチン分子 K4-K13
日本癌学会 | 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日 |
| 二宮致 | 食道癌における beta-catenin 発現状態及び遺伝子変異の検討
日本癌学会 | 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日 |
| 島影美鈴 | Mycosis fungoides を含む皮膚 T 細胞リンパ腫における
Epstein-Barr virus の発現
日本癌学会 | 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日 |
| 山崎洋 | HPV 感染パターンと子宮頸癌発生との関係：HPV ワクチンの
開発に向けて
日本癌学会 | 平成 11 年 9 月 29 日~10 月 1 日 |

笹川寿之

尿と子宮頸部粘液検体を用いた HPV と Chlamydia
trachomatis 感染の検出法

日本性感染症学会

平成 11 年 12 月 5 日